

# 平成29年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部障害福祉課
評価対象期間	H29.4.1 ~ H30.3.31

## 1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立みどり荘
	所在地	岐阜市中西郷1-55
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	-
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.4.1 ~ H33.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、知的障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。</li> <li>・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(児童福祉法第4条第2項に規定する障害児及び知的障害者福祉法にいう知的障害者のうち18歳以上である者に係るものに限る。)を行う業務。</li> <li>・施設の管理に関すること。</li> <li>・その他仕様書に定めること。</li> </ul>	

## 2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H27	1,707
H28	1,502
H29	1,506

## 3 平成29年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	246,185
利用料金	245,029
指定管理料	0
そ の 他	1,156
支 出 計	216,742
人 件 費	159,716
施設管理費	11,803
そ の 他	45,223
差 引	29,443
納 付 金	0

## 4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・再雇用職員2名の配置は評価できる。家族や関係者等々範囲を広げて採用し、適材適所、労働時間の考慮など様々な方法で人員確保に今後も努力されることを期待する。	・職員の確保をするため、地域や育成会等に働きかけ、協力をお願いした。男女を問わず短時間雇用でも良いこととし、公募したところ雇用につながり体制を整えることができた。現在、勤務日数を少なくしたり、1日の労働時間を短くするという、家庭状況に合わせて勤務する職員も採用し、調整しながらシフトを組んでいる。
・ボランティアと自主事業の取り組みにおいて、弱体ではないか。ボランティアではニーズに合わせた多様な展開が、また地域で生活する障がい者や家族を支える拠点施設ならばもう少し多様な展開があるのではないか。	・地域や学校との交流を深めながらニーズを聞き取り、今後もボランティアを受け入れていく。自主事業においても、サービス利用については出来る限りニーズに沿った受入れを行う。

## 5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者の生活は利用者が組み立てる」を掲げ、職員はサポート役(黒子に徹する姿勢)に回り、丁寧な説明や意見を聴きとる姿勢に徹しているのは評価できる。</li> <li>・2対1の職員配置で支援体制を充実した。昨年よりも3名増員は正規職員であり評価できる。</li> <li>・日中一時支援の受入れについて、より安心安全な利用のためナースの増員など、細かなニーズに応えている。</li> </ul>
設置目的の充足状況	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業所との連携を取りながら、地域の福祉ニーズを把握した上で地域の中での障がい者施設としての機能を果たすために職員配置を2対1にしたことで、短期入所事業、日中一時支援の充実を図ったことは評価できる。</li> <li>・みどり市場の開催により、利用者にとっての励みとなる活動に努めている。</li> <li>・定員割れの状況は続いている。男女定員の関係に収めるのはなく、施設入所のニーズは現在でも高いものがある。それに就いてハード、ソフトの整備は考えていけないのか。</li> </ul>
公共性の確保の状況	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所との連携を図ることで、個別支援計画に反映させることができている。また、作業や余暇活動などの記録で証拠を残し、6ヵ月ごとの評価に活かしながら、さらなるQOLの向上に取り組んでいる姿が見えている。</li> <li>・事故発生が少なく1件のみ。昨年(6件)より減らしていることを評価したい。</li> <li>・利用者の高齢化は自然に進行していく。施設はそれに就いた処置内容と環境整備を整えていかねばなりません。一方で若手層の利用者は高度障害を伴った人が多くなっています。環境と専門性は同時に考えていく問題です。</li> </ul>
経営状況	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空床状況を市町等に伝えて入所のニーズを把握した結果1名が入所した。また、職員配置を2対1とすることで、人員配置加算のⅡを取得することにより増収することができた努力は評価できる。</li> <li>・職員確保に向け、多様な働き方を工夫して努めている。</li> <li>・生活介護利用から就労B型事業所に移行されたことは評価できるが、引き続き利用者増に努めて頂きたい。</li> </ul>
派生的効果	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域の方が施設ボランティアに来ている。また、職員募集のお知らせも地域の回覧板や掲示板を利用するなど、地域に受け入れられた施設であることを物語っている。</li> <li>・みどり市場を開催して農園班が育てた野菜を地域に販売している。これは地域とつながるすぐれた方法で他の施設にはない特筆すべき実績が続いている。</li> <li>・みどり市場の取組が地域への貢献とともに利用者の成長発達の視点からいかなる成果をもたらしているか、長年のとりくみを総括する時期にきているのではないかと。</li> </ul>

### <評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

## 6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化、高齢化を考慮しながら、利用者のニーズを個別支援計画に反映することでサービス提供の改善に努めている。</li> <li>・事故件数が昨年度から大幅に減少している。</li> <li>・みどり市場を開催するなど、地域との交流が活発に行われている。</li> <li>・若干定員に満たない状況が続いており、引き続き入所者の確保が求められる。</li> </ul>

### <評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する